

2014年2月13日  
第5回知の市場年次大会

拠点:東京・放送大学文京学習センター  
(ライフワールドウォッチセンター増田研究室) (放送大学協賛)

科目名 : プロフェッショナル論

連携機関 : 放送大学

経営コンサルタント「ySymphony」

元日本電気通信システム(株)代表取締役社長 下條 佑一

#### 放送大学の紹介 (HPより)

放送大学学園 (文部科学省・総務省所管) によって設立された正規の大学

学生の年代 : 10代~90代 中心は30代~40歳

学科分野 : 6コース

生活と福祉・心理と教育・社会と産業・人間と文化・情報・  
自然と環境

科目数 : 約3000

拠点 : 全国57拠点

学生数 : 8~9万人

会社員・大学/専門学校生・公務員・教員・定年退職者・専業主婦・  
自由業者・などなど

取得可能学位 : 学士・修士・博士

受講形態 : 面接授業・ラジオ・テレビ・インターネット

講師陣 : 大学教授・講師、産業界のスペシャリスト、行政職員・・・・

#### 知の市場参加の経緯

放送大学からの紹介によって、増田教授からのお誘い

増田教授の「知の市場」設立の意気を感じ、参加

#### 1 「プロフェッショナル論」開講の趣旨

天然資源が相対的に殆んどない日本が世界トップクラスの繁栄を達成したのは何故だろうか。  
それは日本の国民が「よく」働いたからである。逆に言うと、このことが無ければこの国の繁栄

は維持できない。「よく」働くとは、単に勤勉に多くの時間を働くことではない。何の仕事をするにせよ「プロフェッショナル」に仕事をするということである。その為に講義では全ての仕事に共通する「プロフェッショナルとは何か」を考え、「如何したらプロフェッショナルな仕事をすることができるか」を考える。さらにその一端を演習により実践して受講者自身でそれを継続的に実行できるよう入口まで体験してもらおう。延いては各個人々々がプロフェッショナルに成長することによって楽しい豊かな人生を創造し、「ワクワクした毎日」を手に入れ、それが国としての日本のあらゆる分野での活力の根源になることを願っている。

ここでいう「プロフェッショナル」とは必ずしも有名になることではない。自分の持味をフルに活用して、プロフェッショナルな仕事をする人になることである。事実、国を支えているプロフェッショナルと言える人達の大部分は所謂「有名」ではない。恐らく国を支えている人々の90%以上は有名ではないであろう。

## 2 2013年度後期開講「プロフェッショナル論」の概要

科目番号：共催口座 CT812

水準：中級

定員：20名

講義回数：15回

期間：2013年10月～2014年1月9日

講義日時：隔週木曜日14:30～18:30

場所：放送大学 文京センター 多目的会議室2

### 2-1 科目の目標

この科目の目標は、「プロフェッショナル」な仕事をする為に受講者には下記事項を期待している。

- 1 理に適った自分流の「プロフェッショナル」イメージを創る
- 2 其れを実現する為の必要条件は何であるかを理解する
- 3 特に「プロフェッショナル」な仕事をする為の「技(わざ)」が何であるかを理解しその実行の実感をつかむ

## 2-2 科目の構成

上記の目標を達成する為に下記の15講義をする。その内の5講義で演習を行う。演習を行う理由は、講義の内容が単なる知識(教養)で終わらず、授講後に各人が技(わざ)を実際の仕事に活かすことが出来るよう助走を提供することである。武道の道場では師範が弟子を指導し、プロフェッショナルスポーツ選手にはコーチがついていることに相当する。

具体的な講義構成は以下の通り。

- 1 プロフェッショナルとは何か
- 2 如何にしたらプロフェッショナルな仕事ができるか
- 3 因果律「分解と統合」の技(わざ)  
この技(わざ)は後に続く全ての技(わざ)の基本になる
- 4 技(わざ)「分解と統合」の演習
- 5 「『よい』とはどういうことか」を考える技(わざ)
- 6 「『よい』とはどういうことか」を考える技(わざ)の演習
- 7 技(わざ)「システム思考」
- 8 技(わざ)「システム思考」の演習
- 9 問題解決・課題達成の技(わざ)
- 10 問題解決・課題達成の技(わざ)の演習
- 11 時間に関する技(わざ)
- 12 「気」高める技(わざ)
- 13 Dream Plannning と 人生のプロフェッショナル
- 14 演習「Dream Plannning と 人生のプロフェッショナル」
- 15 「ワクワク」の原理

## 3 その他

最後にもう一つ大切なことを追記する。

プロフェッショナルは家庭内の仕事にも当てはめて考えることが出来る。

それは例えば:—

- 1 プロフェッショナル お父さん
- 2 プロフェッショナル お母さん

家庭は次世代を担う子供達を育む重要な場で、小さい時からプロフェッショナルの基礎を身につけさせる場であるから、お父さん、お母さんが共同で又は分担してそれを実行する必要がある。従って親は家庭での「プロフェッショナル論」をしっかり理解し身につけておく必要がある。例えば単に子供に対し「あれしなさい、これしなさい！」をいう親では子供達の決断力の芽を摘むことになる。将来を担う子供達を育む重要な場の一つが家庭故、家庭は国の礎の一つに違いないのである。

即ち、子育ては「将来のプロフェッショナル」の卵を育む仕事であり、「将来を今日働く！」ことと言える。

以上